



ロサンゼルスにおける ドメスティック・バイオレンス 保護命令



目次

はじめに

- 6 他の保護命令
- 12 保護命令書式の記入のヒント
- 14 4つの保護命令申立方法
- 17 相手方への交付送達
- 18 保護命令の審尋のための出廷
- 19 保護命令の審尋のためのリモート出廷: 音声またはビデオ
- 29 保護命令の審尋に向けた準備
- 32 親権
- 33 調停
- 34 審尋や他の裁判所制度のための通訳の依頼
- 36 審尋延期申立て
- 40 相手方に刑事訴訟があった場合はどうなりますか?
- 44 児童保護サービス (Child Protective Services) や児童裁判所 (Children's Court) が関与している場合はどうなりますか?
- 50 安全計画
- 52 裁判所の電話番号、リソースアカウントのメール、書類提出用ファクス番号

ドメスティック・バイオレンス意識向上月間
イベント「愛はs...」のためにWomen Shelter of Long Beach
のコミュニティメンバーとサバイバーが描いたカバーアート。



はじめに

このパンフレットは、ロサンゼルス郡でドメスティック・バイオレンス保護命令 (Domestic Violence Restraining Order, DVRO、以下「保護命令」と呼ぶ) を申立てる方法をまとめたものです。パンデミックの際に導入されたものも含め、一般的な方法を説明しています。しかし、ロサンゼルスには国内最大の裁判制度と多くの裁判所があり、地域によって手順が異なります。このパンフレットは発行時点において最新のものですが、その後に変更が生じる可能性があります。最新情報は裁判所のウェブサイト (www.lacourt.org) でご確認ください。また、本冊子末尾に掲載されている情報源からサポートや他の情報が得られる場合があります。

<http://www.lacourt.org>



**LEGAL AID
FOUNDATION**
OF LOS ANGELES

Justice • Equity • Hope



Legal Aid Foundation of Los Angeles (LAFLA) は、90年以上にわたり、コミュニティの最前線で法律業務を提供してきました。私たちは、法廷への平等で公平なアクセスを確保し、すべての依頼人とその子供の権利と安全を守るべく、正義のために戦うことに全力を傾けています。



家庭裁判所による 保護命令

暫定的保護命令 (Temporary Restraining Order, TRO) および 保護命令 (DVRO) は、民事裁判所である家庭裁判所に申立てます。

暫定的保護命令は保護命令を申立てる際に利用可能であり、通常、申立日に暫定的保護命令 (の全部または一部) を許可するか否かが裁判所によって決定されます。暫定的保護命令が許可されれば、通常、保護命令についての審尋 (ヒアリング) 期日までの間、暫定的保護命令によってあなたの身が守られることとなります。暫定的保護命令では、親権や子供との面会権の設定、接近の禁止、相手方の個人的行為の制限、住居からの退去 (相手方が同居している場合) などが命令される可能性があります。

保護命令の審尋は、申立てから3週間後に予定されますが、場合によっては審尋期日 (予定日) が後日に延期されることもあります。裁判所での審尋で



詳細情報: <https://www.courts.ca.gov/documents/dv500info.pdf>

は、最長5年間の保護命令 (Restraining Order After Hearing、審尋後の保護命令とも呼ばれる) の発令が可能となります。

他の保護命令

このパンフレットの主眼ではありませんが、ドメスティック・バイオレンス (DV) に対して家庭裁判所以外で発令される、以下の保護命令も被害者の助けになる場合があります。

緊急保護命令 (Emergency Protective Order, EPO)

これは、虐待、児童虐待、子供の奪取などの緊急かつ目前の危険がある場合に、警察を通じて発令されます。これによって、裁判所に保護命令の申立てを行うまで、被害者の身が守られます。パンデミックの間、緊急保護命令の期間は5〜7日から最長30日まで延長されています。

刑事保護命令 (Criminal Protective Order, CPO)

DV容疑で刑事裁判が係属 (裁判所で取扱い) 中である場合や、保護観察の条件として、最長10年間の刑事保護命令が発令されることがあります。刑事保護命令は、有効期限が記載されていない場合は発令から3年後に失効しますが、刑事事件の却下や無罪判決の場合または保護観察終了の場合は直ちに失効します。

少年保護命令 (Juvenile Restraining Order)

家庭裁判所による保護命令と非常によく似た、要保護児童裁判所 (Dependency Court、別名、少年裁判所 (Children's Court)) が発令する保護命令です。

保護命令の申立ては、どのような関係が前提となっていますか？

家庭裁判所に保護命令を申立てるには、相手方と以下のような関係にある必要があります。

配偶者または元配偶者

ドメスティックパートナーシップの登録者または元登録者

同棲相手または元同棲相手
(単なる同居人ではない)

恋人または元恋人

共に育てる子供のいる当事者

二親等以内の家族(血縁、婚姻、養子縁組による):
祖父母、両親、子供、孫、兄弟姉妹

虐待とは？

家庭裁判所は、以下を含む虐待があった場合にのみ保護命令を発令します

身体的損傷を与える行為(首を絞める、殴る、蹴る、叩く、押す、髪を引っ張るなど)

セクハラ

脅迫

- **言葉による脅迫:**「殺してやる」、「殴ってやる」
- **身体的な脅迫:**拳を振り上げて殴るふりをする、顔を近づける
- **器物破損:**壁やドアを叩いて穴をあける、重い物を投げつける
- 銃や他の凶器を振り回して威嚇する

ハラスメントまたはストーカー行為(威圧的な支配行動または平穩を妨げる行為としても知られる)をする

- 嫌がらせの電話をかける、不快なメッセージを送る
- 雇用主、友人、親戚などに虚偽または秘密の個人情報を提供する
- 友人、家族、支援者と絶縁させる
- 基本的な生活必需品を取り上げる
- **支配:**活動、連絡、毎日の行動、金銭、サービスの利用を監視する
- **強制:**腕力、脅威、威嚇、在留資格に基づく脅迫などを用いて、何かの行為を強制する

虐待は身体的虐待だけではありません。言葉によるものや、感情的または心理的な虐待である場合もあります。詳細情報:<https://www.thehotline.org/is-this-abuse/abuse-defined/>